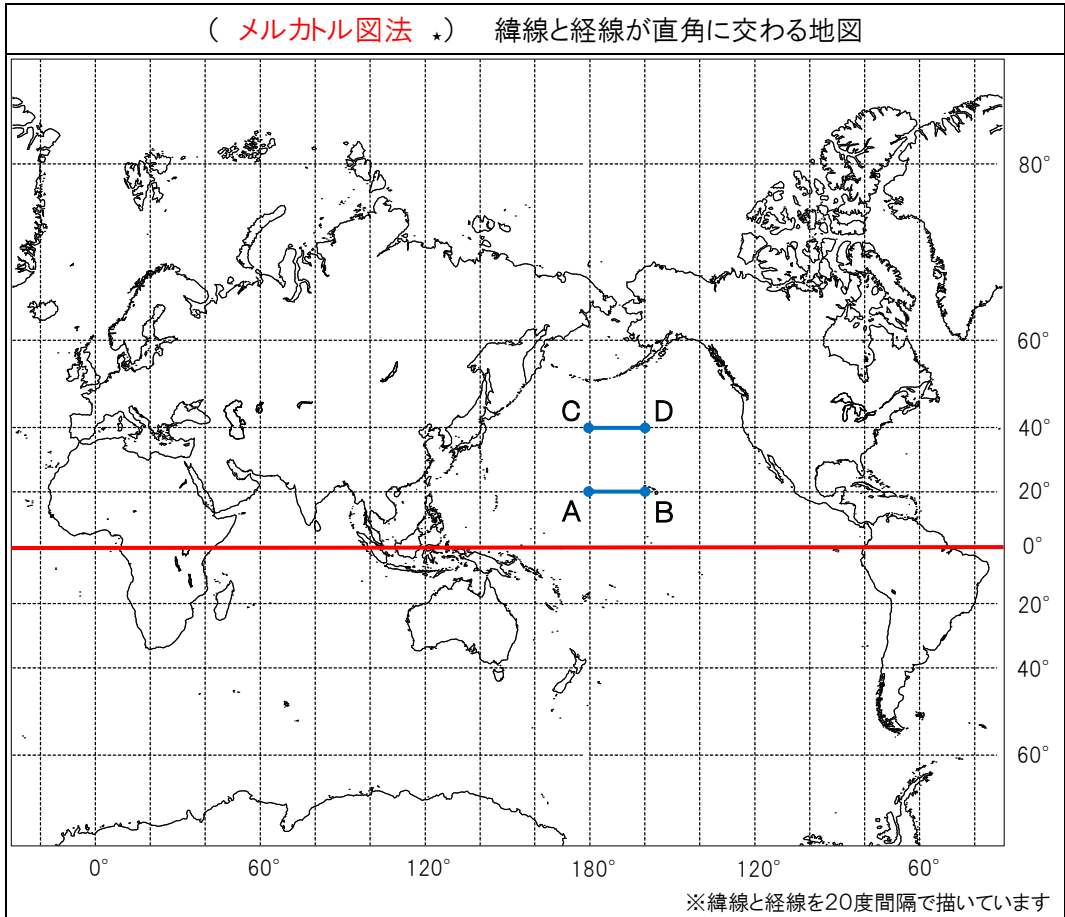


4 地球儀と世界地図の違い

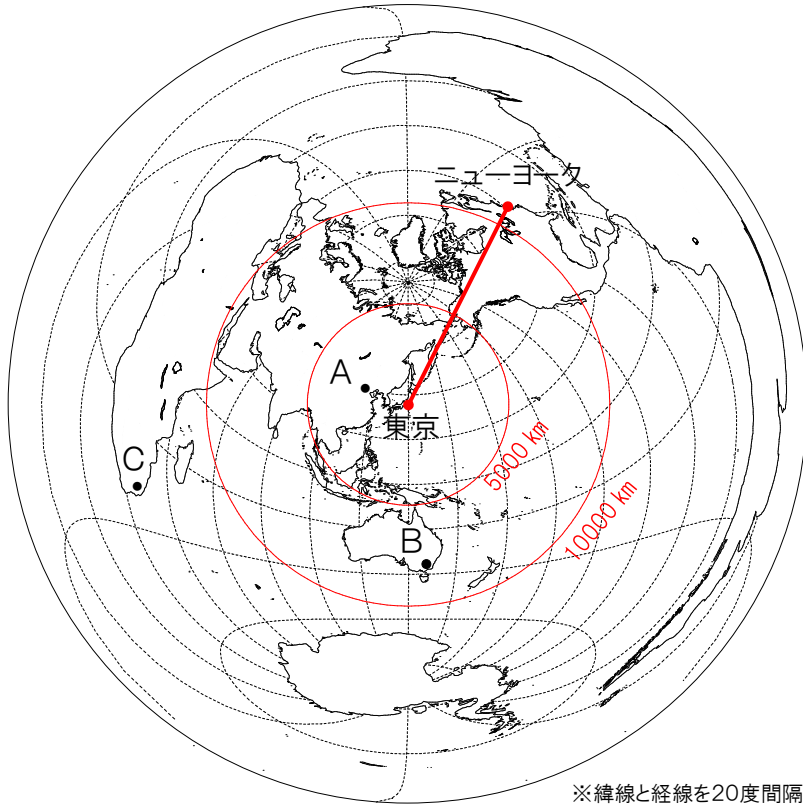
○地球儀と世界地図の違い

- (**地球儀** *)とは、地球をそのままの形で縮小した模型のこと
→地球儀上では、距離や面積・形・方位が正しく表されている
- (**世界地図**)とは、世界全体を一度にみるようにつくられたもの
→メルカトル図法や正距方位図法、せいきよほういずほうモルワイデ図法などの地図がある



特徴	緯線と経線が直角に交わる地図
	2地点の間を結ぶ直線は経線に対して角度が一定 →古くから航海図に利用される 高緯度ほど面積や距離、形のゆがみが大きい →地図上の2点間A-BとC-Dの実際の距離は、(A-B)の方が長い

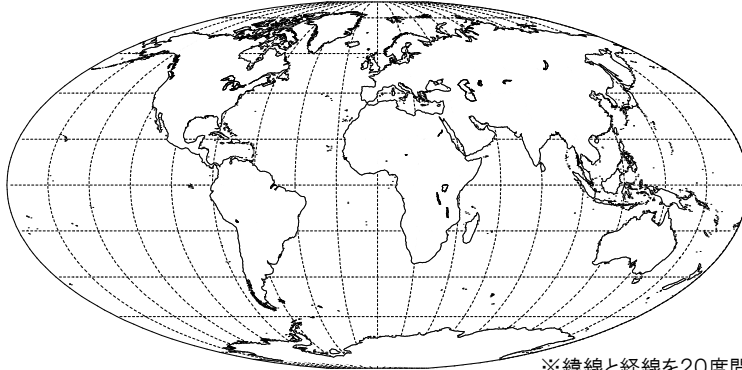
(正距方位図法 **) 中心からの距離と方位が正しい地図



特徴

図の中心から他の地点との距離と方位が正しい
地図中の都市A～Cを東京からの距離が近い順に並べると、(A→B→C)
東京から見て、ニューヨークは(北東)にある
図の中心と任意の地点間の最短コースが直線で表せる→航空図に利用される
外周部分^{へんまわい}にいくほど陸地のゆがみが大きい

(モルワイデ図法 *) 面積が正しく表される地図



特徴

面積が正しく表される
分布図などに利用される
高緯度地方の陸地の形は比較的ゆがみが小さい